

令和3年度大学入学者選抜に係る大学入試英語成績提供システム運営大綱 (令和元年6月4日付け 元文科高第106号 文部科学省高等教育局長通知)

令和3年度大学入学者選抜に係る大学入試英語成績提供システムの運営に関し必要な基本的事項について、次のとおり定める。

第1 運営の趣旨

高等学校学習指導要領における英語教育の抜本改革を踏まえ、大学入学者選抜においても、英語の「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能（以下「英語4技能」という。）を適切に評価するため、大学入学共通テストの枠組みにおいて、現に広く実施され、一定の評価が定着している資格・検定試験を活用する。

独立行政法人大学入試センター（以下「大学入試センター」という。）は、大学入学者選抜における資格・検定試験の利用を支援するため、大学（専門職大学及び短期大学（専門職短期大学を含む。以下同じ。）を含む。以下同じ。）、高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）及び資格・検定試験を実施する団体と連携して、「大学入試英語成績提供システム」（以下「成績提供システム」という。）を運営し、成績提供システムに参加する資格・検定試験の成績を大学の要請に基づき、提供する。

第2 成績提供システムに参加する資格・検定試験

成績提供システムに参加する資格・検定試験（以下「資格・検定試験」という。）及び当該資格・検定試験を実施する団体（以下「資格・検定試験実施団体」という。）は、大学入試センターが決定、公表する。

第3 各大学における成績提供システムの利用

大学は、入学志願者の英語4技能を適切に評価するため、大学入学共通テストの利用の有無にかかわらず、成績提供システムを利用することができるものとする。

なお、成績提供システムを利用する各大学（以下「各大学」という。）は、入学志願者の受験機会や負担に配慮し、利用対象とする資格・検定試験の種類を限定しないことが望ましい。

第4 各大学における成績提供システムの利用に係る通知

令和3年度大学入学者選抜から成績提供システムを利用する大学や学部（短期大学においては学科。以下同じ。）について、当該大学は、利用対象とする資格・検定試験名等を、令和2年2月29日までに、別紙様式により文部科学省高等教育局長及び大学入試センター理事長に通知するものとする。

第5 資格・検定試験の実施時期等

大学入試センターは、令和3年度大学入学者選抜に係る資格・検定試験について、原則として、入学志願者が令和2年の4月から12月までの期間に、大学入試センターが発行する個人を特定するためのID（共通ID）を記入して受験した2回までの資格・検定試験の成績を、成績提供システムを通じて各大学へ提供するものとする。

資格・検定試験の具体的な実施日時については、資格・検定試験実施団体が別途公表するものとし、大学入試センターのホームページから当該情報を閲覧できるようにする。

第6 配慮事項

各大学は、障害等のある入学志願者の資格・検定試験の成績の取扱いについて、障害等の種類・程度によって不利益が生じないよう十分に配慮するものとする。

第7 利用手続等に関する要項

大学入試センターは、この大綱に定めるもののほか、高等学校及び大学に向けて、利用手続の詳細、成績提供等に関する要項を定め、別途公表するものとする。

別紙様式

令和3年度大学入学者選抜における成績提供システムの利用方法について
(成績提供システムを利用する大学及び利用する学部のお知らせ)

大学名 (所在地)	[記入例] 〇〇大学 (〇〇県〇〇市)
利用する学部・学科 (課程、専攻等) 名 (総入学定員)	〇〇学部〇〇学科 (〇〇人)
利用する選抜の対象	一般選抜の定員の一部について利用 前期 〇〇学科(〇〇人) 後期 〇〇学科(〇〇人)
利用対象とする資格・検定試験名	・成績提供システムの対象試験全てを利用する
資格・検定試験の利用方法	・CEFR との対照表の〇以上を出願資格とする。

記入上の注意

- 「利用する学部・学科 (課程、専攻等) 名」の欄には、学部等の単位で記入すること。ただし、同一学部等であっても、学科等ごとに異なる入学者選抜を実施する等の場合には、異なる単位ごとに分けて記入すること。なお、入学定員の人数については、当該学部・学科の総入学定員の人数を記入すること。
- 「利用する選抜の対象」の欄には、成績提供システムの利用について、例えば「一般選抜の定員の一部について利用」、「総合型選抜について利用」、「学校推薦型選抜、専門高校・総合学科卒業生入試について利用」、「第2次募集による選抜について利用」等、成績提供システムを利用する選抜の対象及び募集人員を記入すること。
- 「利用対象とする資格・検定試験名」の欄には、当該学部・学科 (課程、専攻等) で入学志願者の受験対象とする資格・検定試験名を記入すること。資格・検定試験名については、別途大学入試センターが決定、公表する名称を記入すること。
なお、資格・検定試験全てを利用する場合は、「成績提供システムの対象試験全てを利用する」と記入すること。
- 「資格・検定試験の利用方法」の欄には、「CEFR との対照表の〇以上を出願資格とする」、「加点方式とする」、「出願資格と加点方式を併用する」等の利用方法を記入すること。